

自閉症総合援助センター 萌葱の郷

ASSIST



～芽吹く未来へ～



◆社会福祉法人 萌葱の郷 「こども発達支援センター 大分なごみ園」

大分なごみ園では、地域における発達支援の拠点となるための相談支援や一人ひとりの「特性」や「課題」に応じた発達支援、合理的配慮に基づいた環境設定を行い、利用児童が地域で安心して暮らしていけるよう取り組みます。

児童のライフステージやライフサイクルを通したサポート体制を各関係機関と連携していくと共に、より多くのニーズに応えていけるよう専門性を高めていきたいと思っております。

2013.10.1 発行
VOL.5

障害福祉の動向と これからの展望

理事長 五十嵐 康郎

(全国自閉症者施設協議会会長・日本自閉症協会副会長)



平成 25 年 6 月 19 日に参議院本会議で障害者差別解消法が全会一致で可決成立した。同法の目的は障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら、共生社会の実現に資することと定められており、障害者基本法第 4 条の「障害を理由とする権利侵害行為の禁止」「社会的障壁の除去を怠ることによる権利侵害の防止」「国による啓発と知識普及を図るための取り組み」を具体的に定めたものである。同法の成立によって、障害者権利条約批准にむけた国内法の整備が整った。

6 月に開催された全国知的障害関係施設長会で厚生労働省障害福祉課長が小規模入所施設に言及した。小規模入所施設は、定員 20 ～ 30 名程度の多機能型の地域支援の拠点としてイメージされているが、これは全国自閉症者施設協議会が提唱している「自閉症総合援助センター」構想そのものである。

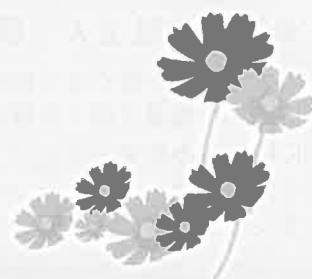
自閉症総合援助センターの機能は、1) 生活保障機能(施設入所支援、共同生活援助、共同生活介護) 2) 強度行動障害療育機能(行動援護、強度行動障害療育棟) 3) 地域生活補完機能(短期入所、居宅介護、行動援護) 4) 早期療育機能(障害児通園事業、保育所) 5) 日中活動支援機能(生活介護) 6) 就労支援機能(就労移行支援、就労継続支援 A 型・B 型) 7) 相談・療育・普及・啓発機能(発達障がい者支援センター、相談支援事業) 8) 専門家養成機能(発達障がい者支援専門員養成研修) 等だが、当法人は既にその多くに取り組んでいる。

今後の課題としては、定員 4 ～ 5 名の小規模のグループホームは、世話人がほぼ毎日宿直せざるを得ないなど、労働条件の過酷さから、職員の定着や専門性の確保が困難である。ケアホーム「かわしま」の定員を 15 名に増築・増員し、6 ～ 7 名の専任職員を配置し、ローテーション勤務を可能にすることで、障がいの重い方の地域生活を実現するとともに、職員の定着や専門性の確保との両立を図る運営モデルを提案する。

行動障害によって、家庭生活が崩壊し、精神病院への長期入院等を余儀なくされる事例が増えている。契約制度になったことにより、障害福祉サービス事業所が増える一方で、行動障害のある方の福祉サービス利用が益々困難になっている。強度行動障害療育棟(仮称)を整備し、一定期間(3年間)で通常の施設入所支援やグループホームへの移行を可能にする支援モデルを開発する。

就労支援機能の体制を強化し、就労移行支援、就労継続支援 A 型事業を開設し、福祉サービスの谷間にあるアスペルガー障害の方等への支援の充実を図る。

発足以来 7 年目を迎え、126 名の支援専門員を輩出し、スーパーバイザーとして関係機関に年間約 200 件派遣するなど、大分県発達障がい者支援専門員養成研修が「普及・啓発」「専門家養成」「機関連携」の決定打として全国的に注目されている。研修体制を整備して、全国で同研修が実施できるようにする。



一 発達支援登録証（大分県） 一

大分県発達支援登録証とは？

「発達障がいの特性を有しており、特性に応じた配慮・支援が必要である」ことを証明するものです。大分県内で支援を必要としている発達障がい児者が、各市町村の中で適切な支援を受けることができるように、ECOALをはじめ、大分県発達障がい者支援センター連絡協議会や大分県発達障がい者支援専門員が支援をバックアップすることが保障されています。発達障がいに関する基本的な配慮や個々の特性について関係機関が共有し、一貫した支援を行いやすくすること、同時に発達障がい児者及びその家族に対して日常生活に必要な福祉サービス並びにその他の情報提供を行いやすくすることを目指します。

登録証の活用方法

①災害時対応

災害時の安否確認や連絡、また発達障がいに対応できる避難施設の確保や避難先での配慮（過敏、対人トラブル、家族の心的ストレス等）が可能となります。

②情報提供や意見収集

発達障がいに関わる研修や関係資料の送付、大分県発達障がい者支援専門員の名簿の送付等、適宜、登録者を対象に情報提供を行います。また、アンケート等を実施し、県内の発達障がい児者及び家族からの意見の把握に役立てます。

③関係機関との連携

対象児者が様々な機関と関わる際にこの登録証を提示すると、発達障がいに関する説明や配慮点のアドバイス等で、ECOALも連携することができます。

交付までの流れ

発達支援登録証の登録手続きを行なえる人

- ◆対象が未成年の場合は、保護者
- ◆対象が成人の場合は、本人または保護者



発達支援登録証の登録に必要な書類

- ◆発達支援登録証申請書
- ◆診断書または心理判定書のコピー



郵送もしくは
窓口へ提出

郵送にて
返送

決定通知書

- ◆交付もしくは不交付の決定通知書
- ◆交付決定の場合は、発達登録証の原本



大分県発達障がい者支援センター ECOAL



必要書類を
確認後、
審議する

発達障がいとしての
支援や配慮が必要か
どうかの判断を
行なう。



こども発達支援センター 大分なごみ園

平成 25 年 5 月、大分市丹生に「大分なごみ園」が開園いたしました。豊後大野市犬飼町にある「なごみ園」に続いて、法人二か所めのこども発達支援センターです。

★園長あいさつ★



このたび、大分なごみ園の管理者兼サービス管理責任者を拝命しました福田和彦です。

大分市東部を中心に、よりよい療育サービスを提供するため、使命感と情熱を持って取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



☆ 運営目的 ☆

利用児が地域で安心して暮らしていくために、合理的配慮に基づいた環境設定の中で、一人ひとりの「特性」や「課題」に応じた発達支援を提供いたします。



☆ 支援方針 ☆

- ① 発達支援 … 一人ひとりの発達に合わせて、基本的な生活習慣、対人関係、言語やコミュニケーションなどの力を伸ばします。
- ② 才能支援 … 生き生きと自己表現し、気持ちの交流ができるように支援します。
- ③ 家庭支援 … 子育てについての相談や学習会を通して、お子さんへの理解を深め、育ちと暮らしを支えます。
- ④ 地域支援 … 保育園、幼稚園、学校、保健所、医療機関などと連携をとりながら地域での育ちと暮らしを支えます。
- ⑤ 心のケア … やりとりで信頼関係を深め、安心感を育み、意欲につなげます。

◆ 児童発達支援 ●開園日:月～金 ●時間:9:30～13:30




| 時間 | 活動 | 活動内容 |
|-------|-------------------|--|
| 9:30 | 登園開始 自由遊び | <ul style="list-style-type: none"> あいさつ・シール貼り ブランコや砂場、登り山など体を動かす遊びや、積み木、ままごと、ブロックなどの玩具を使っての遊びなどを楽しみます。 |
| 11:00 | 朝の集り 集団活動 | <ul style="list-style-type: none"> あいさつ・名前呼びなど 音楽遊び、体遊び、感覚遊び、ふれあい遊び、絵本、絵カードなどの活動をします。 |
| 12:00 | 昼食 歯磨き 自由遊び | <ul style="list-style-type: none"> みんなで一緒に楽しく食事をします。 |
| 13:30 | 帰りの集り 降園 | <ul style="list-style-type: none"> 帰りのあいさつ |



◆放課後等ディサービス

●開園日：月～土 ●時間：14:30～16:30(月～金)

9:30～11:30(土)14:00～16:00(土)

| 時間 | 活動 | 活動内容 |
|-------|-------------|--|
| 14:30 | 登園 自由遊び | <ul style="list-style-type: none"> • あいさつ・シール貼り・着替え • ブランコや砂場、登り山など体を動かす遊びを通して、友達や職員との信頼関係を作り、自由に好きな遊びを楽しみ、気持ちのリフレッシュをします。  |
| 15:30 | 集団活動 おやつ | <ul style="list-style-type: none"> • 活動を通して、友達とよりよいコミュニケーションや社会性を身につけます。 |
| 16:30 | 帰りの集り 降園 | <ul style="list-style-type: none"> • 帰りのあいさつ   |

☆ 利用定員 ☆

- ・ 児童発達支援（幼児）：1日10名
- ・ 放課後等ディサービス（学童）：1日10名

☆ 送迎 ☆

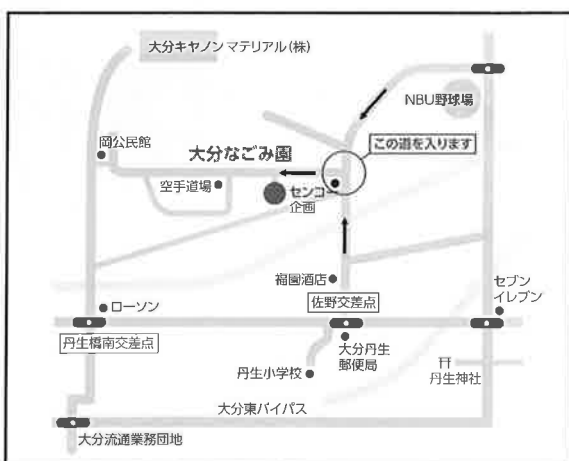
公用車による送迎が可能です。ご相談下さい。

☆ 昼食 ☆

給食（幼児のみ）を実施します。



☆ 位置図 ☆



☆ 利用料金 ☆

1ヶ月の利用回数に応じて障害児通所給付費が決まります。

※ただし、所得に応じて利用者負担上限額があります。

☆ 職員 ☆

施設長、児童発達支援管理責任者、児童指導員、保育士、社会福祉士、介護福祉士、臨床心理士

☆ 設備 ☆

調理室、遊戯室、相談室、医務室、静養室、浴室、洗面・トイレ、事務室、プレイルーム、園庭



〒870-0318 大分県大分市丹生 210-3
TEL 097-524-3636 FAX 097-524-3637

【わたしの療育論】

利用者から学んだこと

障害者支援施設 めぶき園

主任支援員 木下 祐市

たとえば「療育について」というテーマがあります。あなたならどう考えるでしょうか。療育とは何なのか。これは私たち直接的な支援に携わる者にとって、しっかりと捉えておく必要がある要素のひとつではないでしょうか。

極めて個人的なことになりますが、私自身が勤めてきた17年間を振り返ってみると、それは、『療育について考える続ける日々』だったように思います。

新人職員の頃は毎日のように夜遅くまで、療育（支援の在り方）について職員同士で何度も話し合いを重ねました。声掛けの仕方、活動への促し方、心の安定への配慮、誉め方の工夫など、さまざまな場面で行われる「支援者自身の関わり方」をお互いに検討し合いながら、今日までやってきたように思います。勿論、その中でも多くの失敗がありました。利用者の状態を的確に把握できず、うまく関われない時は、本当に苦労をしました。何故できないのか？どうして上手にやり取りができないのか？と自分を責めてしまう事もありました。『支援者としての未熟さを素直に認め、利用者に申し訳無いと謝る気持ちを養うこと。失敗を繰り返さないように、次に活かして関わって行

こう』という園長からの助言が、私たちの心構えとなりました。その積み重ねた経験が、現在でも私が利用者に関わっていく上での原動力であり、いわゆる独自の療育論なのだろうと感じています。（私にとつての療育）とは、すべて利用者との関わりの中から生れたものなのでした。

私たちは、利用者と共に暮らし、日々向かい合いながら、支援をしています。1日はあつという間に過ぎて行きますが、ひとつの支援を丁寧に行うには、場面に応じた関わり方が必要不可欠です。気負い過ぎずに、自分の『療育について』或いは『療育とは何だろう』という利用者への配慮を忘れずに支援そのものが本人たちにとって『間違っていないか』と考える冷静な目と謙虚さを持ち続けることが大事なことだと思えます。支援者側の意識的な関わり方が、決して一方的なものにならないように、利用者たちに心から「ああ、いい支援だな」と感じてもらえるような支援を積み重ねて行きたいと考える、今日この頃なのであります。

あなたにとつての療育、ちよつとだけ、考えてみて下されば幸いです。

土地の寄付を

いただきました！

この度、当法人における社会福祉事業にご賛同いただきました「太田美恵子」様、「森健一郎」様から、土地の寄付をいただきました。

お二人の気持ちを大切に、障がいに関わる方が減ることを目指していくために活用させていただきます。

本当にありがとうございました。



conversation with いぬかい保育園 主任

A : よろしくお願ひします。

平 : よろしくお願ひします

A : 早速ですが、保育の道に進んだきっかけを教えてください。

平 : 私、自分が一人っ子なんだけど、近所の子を集めて学校ごっこしたりとかいつも連れて歩いたりとか、小さい子のお世話が好きでした。それがもとにあるかな。あとは、幼稚園の時に会った先生がすごく良い先生で、「あんな先生になりたいな」って、ずっと思っていました。

A : 実際に保育士になってみてどうでしたか？

平 : 最初は「子どもを怒っちゃいけない！」って思ってたけど、現場に行ったら、先生たちがバンバン怒ってた(笑)自分のやり方に自信がなかったし、保護者対応でも色々あって…悩んで試行錯誤の方が多かったですね。今は、子どもと一緒に楽しんで、日々変化するその成長を見ることができ、毎日楽しいです。「叱る」こともあるけれど、それは先生と子どもの間に信頼関係があるからこそできること。保護者対応についても意見に対して落ち込んだり腹をたてるんじゃないで、「じゃあ、そんな時にお母さんはどういう風な対応をしたらいいのかなあ」とお母さんの気持ちになって考えてみるようになりました。歳を取ってきたからかな(笑)意見をしてくれることはありがたいし、こちらも真摯な対応で受け止めて、できることはしていかなければならないとやっと考えられるようになった。

A : 保育士になって今までで一番うれしかったことは？

平 : つい最近、中学3年生の保育体験があって。その感想に「2~3時間だったけど、子どもがすごくかわいくて、頼ってくれて、すごく楽しい時間を過ごした。そういう時間を過ごしたことで、自分のことが好きになれた。」と。こんな短い時間で「自分のことが好き！」という気持ちにさせてくれる子どもはすごい!!子どもってそういう存在なんだなあ、すごい力があるんだと思った。そんな子ども達と毎日一緒にいられるなんて!!保育士をして良かった、この仕事に就けて良かったと感じました。

A : 小さくてもすごい力があるんですね。では、逆に「これは失敗した…」ということとは？

平 : 失敗はね…思いつかない、いっぱいありすぎて(苦笑)わりとせっかちなので、待とう!一呼吸おいて!と思うけど、すぐに反応しちゃう…「よく見てなくてごめんね。」と謝るけど、そういう時は落ち込む。子どもが色々するのは理由がある。その理由をきちんとゆっくり聞いてあげられるようになりたいと思うんだけど…いくつになっても難しい(苦笑)

A : 落ち込んだ時やストレスが溜まった時、どのようにして自分の気持ちをポジティブにもっていきますか？

平 : 一晩寝たらわりとなくなる(笑)。色々考えても仕方ないし、「じゃあ、どうしようか?」と考える。でも、息抜きはたくさんします!!帰ってビール飲んだりとか、夕方から自分の子どもと買い物行ったり。週1でミニバレーの練習もしています。

A : アクティブですね(笑)ミニバレーはチーム競技ですが、保育園の先生のチームワークはいかがでしょう?やはり『女性の職場』は大変ですか？

平 : 性別とかに関係なく、色々な人がいて色々な考え方があ。だから、自分のことを押し付けないで接しなきゃと



話し手: 平岡 千枝 (=平)

聞き手: A

思うんだけど、自分の感情がでてくるんだよね(笑)。

好き嫌いでなく、気持ちの合いやすい合いにくいはあるから、まとめることは本当に難しい。その都度、意見をもらって対応するように心がけています。自分の勉強にもなる。園長先生はその辺がとても上手い!園長先生がいるからうまくまわっていると思う。言いにくいことがあっても「僕が伝えるよ」と言ってくれたり。園長先生も1人1人の先生のこともわかっているから、相談して意見をもらいながら接しています。

A : これまでの園長先生のイメージが変わりました(笑)

平 : 私は就職してからずっとこの保育園にいますので、園長先生から「主(ぬし)だ!」って言われてる…かれこれウン十年(笑)

A : ずっとここなんですか?それはすごいですね。就職した時と今と、子ども達の傾向として変化はありますか?

平 : とにかくじっとしてなくて走り回ったりとか、お話が聴けなかったりとかという感じの子はいました。今考えたら、発達障がいを持った子どもだったのかもしれない。でも、昔は暗くなるまで外で走り回って遊ぶことが当たり前だったから、そこまで深く考えたことなかった。配慮は必要だったと思うけど、特別といった感じはなかったです。今は保育園だけで対応するのではなく、様々な機関と連携して、全体で子どもを支援していきましようという体制ができつつあります。いぬかい保育園は設備の充実はもちろん、子育て支援センターがあって保護者の対応もできていると思うし、保育園は保育園で機能している。発達障がいをお持ちのお子さんの対応についてはなごみ園と協力し、場合によっては他の機関と連絡をとっている。とても充実した保育園です。自己研鑽の為に、園長先生も「研修にはどどん行け!」って言って行かせてくれるから、本当にありがたいです。

A : 先生の目指す保育像は?

平 : 楽しいとか嬉しいという気持ちを、いつも一緒に感じていられる保育士でいたいと思います。共感すること…子どもだけじゃなく、そこにいるみんなと。それを大事にしていれば、いい関係ができると思う。全てみんなを感じていきたい!

A : 素晴らしいですね。頑張ってください。お忙しいところ、ありがとうございました。

平 : ありがとうございます。



障害者支援施設 めぶき園(法人本部)
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
 TEL097-578-0818
 FAX097-578-0819
 mebukien@moeginosato.net

ホームヘルプサービスセンター らすかる
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
 TEL097-578-1888
 FAX097-578-0819
 rasukaru@moeginosato.net

特定相談支援事業所 プラス
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
 TEL097-578-0818
 FAX097-578-0819



こども発達支援センター なごみ園
 大分県豊後大野市犬飼町大寒2149番地1
 TEL097-586-8070
 FAX097-586-8071
 nagomi@moeginosato.net

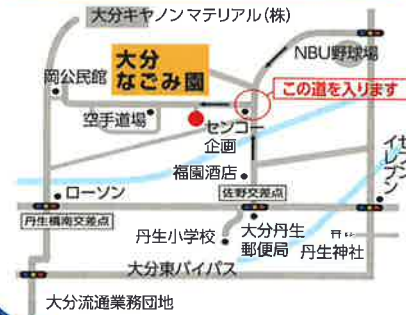


就労支援施設 どんこの里いぬかい
 大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
 TEL097-578-0077
 FAX097-578-1226
 donko@moeginosato.net

大分市



こども発達支援センター 大分なごみ園
 大分県大分市丹生210-3
 TEL097-524-3636
 FAX097-524-3637



萌葱の郷 ロードマップ



いぬかい保育園(いぬかい子育て支援センター)
 大分県豊後大野市犬飼町田原1419番地
 TEL097-578-0706
 FAX097-578-0710
 inukai-hoikuen@moeginosato.net



ケアホーム かわしま
 大分県豊後大野市犬飼町下津尾3709-8
 TEL097-578-0885



大分県発達障がい者支援センター ECOAL
 大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
 TEL097-586-8080
 FAX097-586-8181
 info@moeginosato.net

◆協力者御芳名

《物品の部》都甲 昇道様・渡辺 恭英様・佐嶋 安直様
 《現金の部》伊美 信長様・秦 正也様・医療法人謙誠会 理事長 釘宮 誠司様

編集 後記

今年度から、広報委員に新メンバー二人が加わり、「ASSIST」Vol.5を発行することができました。先輩のアドバイスを聞きながら、初めてのインタビューに挑戦。普段きかないプライベートなど知ることができ、第一印象と違う側面を見ることができました。これからも斬新で魅力ある広報誌をつくれるよう、頑張りたいと思います。

